

第5回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ (ミキハウスカップ大阪2016) 大阪北港マリーナで開催

今回で5回目となるジュニアヨット国際親善レガッタが、10月16日(日)に大阪北港マリーナにおいて開催されました。株式会社ミキハウス様(特別協賛)の名を冠した大会として、9月の東京に引き続きの開催、大阪をはじめ兵庫県・三重県そして香川県からOP級上級者クラス13名、OP級初級者クラス14名、合計27名のジュニアセーラーと46名の指導者・保護者の他に親子1組がアクセスディンギーで参加しました。

当日の天候は晴れ、朝早くから艇を車載した参加者が続々と集まってきます。8時30からスタッフミーティング、9時から開会式、その後A・B両海面に分かれてスキッパーズミーティングが行われた後、選手たちは各々レース海面に出艇して行きました。

A海面のOP級上級者クラスのレースでは10時15分に第一レースをスタートしましたが、淀川の流れに押し戻されてほとんどの選手がスタートすることができません。止むなくノーレース。再度スタートを試みましたが、川の流れに逆らって上マークに向かうだけの風もなく、またもやノーレース。その後、選手たちは海上で昼食を取りレース再開を待ちます。ようやく風も安定し川の流れの影響も少なくなり、12時25分に第一レースをスタートすることが出来ました。

ポンド内で行われたOP級初級者クラスは、昼食をはさみ午前と午後それぞれ2レースずつの合計4レースを行いました。



伊藤雅宣本部長の開会挨拶



出艇を待つ選手たち



A海面本部船

A海面



淀川の流が弱まるのを待ちながらの昼食



待ちに待ったスタート



第一マークを回航する選手

B海面



ポンツーンから声援をおくるギャラリー



一斉にスタート



一団となって上マークに向かう選手達
親子でオープン参加のアクセスディンギーの
青いセールも一緒に

栄光のミキハウスブレザーは服部友賀君(三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ)が獲得



ブレザーを着て嬉しそうな服部友賀君

レース終了後に表彰式が行われ、OP級上級者、OP級初級者そしてクラブ対抗それぞれの入賞者、入賞チームが発表されました。OP級上級者は三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブの服部友賀君が優勝し、ミキハウスからトロフィー(持ち回り)とブレザーが授与されました。またOP級初級者はB&G伊丹海洋クラブの藤井杏さんが優勝、海外セーリング研修への参加権を争うクラブ対抗レースではB&G高松海洋クラブが優勝しました。



OP級上級者クラスの入賞者



OP級初級者優勝者 藤井杏さん



OP級初級者クラスの入賞者



クラブ対抗レース優勝クラブ代表者

表彰式会場では恒例のバーベキューパーティーと閉会式が行われました。プロテスト委員長の宇都宮則夫様からレース講評を、特別協賛である株式会社ミキハウスの光川彰夫様からご挨拶を頂きました。参加者たちは表彰やジャンケンゲームに歓声を上げながら、炭火で焼いた肉や野菜をモリモリ食べていました。



株式会社ミキハウスの光川彰夫様



プロテスト委員長の宇都宮則夫様

